

平成30年（2018年）はいかなる年か

「九紫火星・戊（ぼ・つちのえ）・戊（じゅつ・いぬ）・平地木（へいちぼく）」

カナダ株式会社代表取締役社長 金田康男

カナダ株主金田社長による恒例の今年の「いかなる年か」をご紹介します。

- 本年は「九紫火星」が中宮に入り「九紫火星」の象意が各方面に強い影響を与える年となる。
- 「九紫火星」は、炎が燃え上がる状態であり外炎は勢いが強く明るく、内炎は暗くて弱いという状態で「吉凶が交差する」様を呈している。
- 四季に夏至に入り陽の極に達しこれを境に運気は陰に転じ弱まっていく。
- この星の象意は「離別の星」「争いの星」「火災の星」と言われている。
- 炎が明るく照らしたように「顕現作用」が働く年となるので、「喜びや争い」「出会いや別れ」などプラスとマイナスの面が顕れ、人それぞれに吉凶が交差して現れる。
- 「五黄土星」（革命・破壊・顕現の星）が「坎宮」（本厄）に「六白金星」（経営・大企業の星）が坤宮（後厄）に「七赤金星」が「震宮」（因厄）に回座する年であり、また「九紫火星」も顕現作用のある年のため**金銭にまつわる問題が表面化する**可能性がある。
- 企業では特に「歳破」のある辰（東南東）方面の貿易や取引には要注意。
- 「戊」は「戊」も「茂る=草木が繁茂して盛大となる」状態を表し、陰陽繁雑する意味。風通し、日当たりを良くして根固めをする必要がある。「戊」には「切る」という象意もあり、**大鉈を振るい思い切って不必要なものを大整理する年**である。

本年の社会・経済について

- 世界情勢は一見、落ち着いたかに見えても内面では波乱を含んでおり、プラス面やマイナス面が交互に現れてくる可能性が強い。政治や政策、経営も「謙虚」であればプラスの方向に、「不遜」であればマイナスの方向となる。
- 外見は明るく景気が回復したかに見えるが内実が伴わないため庶民生活は経済的苦境に陥り庶民の政府に対する不平不満が表面化する可能性あり。政治も困難が付きまとうが未来に向けて余分な枝葉を落とし、風通しを良くし、根固めをしていくことが肝要となる。そのために今年の政治は国民生活や国政全般にわたり諸事、勇断果断に対処し政治を収めていかないと将来の騒乱に結びつく可能性がある。
- 「平地木」は「変転と平穏」の間に挟まり「孤立」する形を顕わしている。そのため経済や社会は方向感の乏しい年となる。
- 「九紫火星=離」の象意と「平地木=孤立」の象意から政治面やビジネス面でも分裂・分離は孤立や再編をもたらすことが予想される。**一致団結が必要な時**。
- 「離」には「離れてくっつく」という象意もあり、企業の合併やM&Aが増えることも予想される。
- 金融関連は活発化するが、昨年と同様に経済状態は表向き景気が良さそうに見えるが、まだ経済が立ち直る時ではないため、金融界、経済界は低迷が続くことが予測され、経済立て直しに着手すべき年となる。

- 企業は年の前半は営業成績の伸び悩みや運転資金難も心配され、全体的には厳しい状態が続くが将来のために忍耐強く懸命に対処すべき年となる。損して得とれ、無茶をせずにしつかりと堅実な経営に心掛ける年。
- 「戊戌（ぼじゅつ）」の年は枝葉が繁るように善悪はともかく新旧両方の勢力が伸びてきて紛糾することになりそれらの動きを果敢に処理していかねばならない年となる。
- 「火・争い」の象意である「九紫火星」が「革命・破壊」の象意でもある「五黄土星」の定位の中宮に入るため革命、紛争、戦争などが勃発する懸念もある。

◎今年の恵方 丙（ひのえ）の方角・・・南南東

◎今年も五黄殺が「北」、暗剣殺が「南」、歳破が「辰（東南東）」となり、これらの方角は要注意。

自然災害について

◆「九紫火星・戊・戌」の年の災害

- 「九紫火星」は「火」を意味し、「戌」は「土性の陽気」を意味し、また、山の象意をもつ「八白土星」が位置する辰(東南東)の方角に「歳破」があり、また、「辰」は天地が振動する「震」と同じ意味合いをもつため東南東方面に土と関連する災い(火山噴火・地震・土砂崩れなど)に要注意の年となる。
- 納音（なつちん）が「平地木」のため、離島での噴火などが考えられる。

◆自然災害例

●九紫火星の年

1640 北海道駒ヶ岳噴火、噴火湾で津浪発生・1694 出羽津軽地方地震・1703 元禄地震(江戸関東大地震)、江戸大火・1712 三宅島噴火・1721 浅間山噴火・1730 京都大火・1766 東北北部地震・1802 江戸大洪水・1829 江戸大火(己丑の大火)・1847 善光寺地震・1856 江戸洪水・三陸北海道地震、北海道駒ヶ岳噴火・1874 三宅島噴火・1910 有珠山噴火・1937 小串硫黄鉱山津波災害・1946 南海地震・1955 徳島南部地震、桜島南岳爆発、秋田北部地震・1964 新潟地震・1973 根室南東沖地震・1991 雲仙普賢岳噴火・2000 有珠山噴火、三宅島噴火

●戊戌・平地木の年

1658 鴨川氾濫・1718 信濃三河地方地震・1778 畿内、安芸地方暴風雨・1898 山口北部・東北地方・福岡西部に地震・1958 台風 17 号,21 号、22 号(狩野川台風)、阿蘇山、浅間山噴火

近年の「九紫火星」年の出来事について

1937 日中戦争勃発・1964 東京オリンピック・1973 第一次オイルショック・1991 湾岸戦争勃発、バブル経済崩壊・2000 I T バブル崩壊・2009 北朝鮮核実験、弾道ミサイル発射実験開始。

生まれ年による運勢（福運を招くために本年の留意すべき事項）

※節分（2月3日頃）までに生まれた人は前年の星となる。

◆ 一白水星 大正7・昭和2・11・20・29・38・47・56・平成2・11・20・29

- ① 運氣充実して、強運の年。力量を発揮し積極的に行動できる年ですが、奉仕の精神で諸事焦らず、慎重に対応するように心掛けること。
- ② 独断専行を慎み、人間関係の和に努め、先輩や有識者の意見、助言、忠告に耳を傾け、又部下の意見も受け入れる心の広さと余裕を持つこと。
- ③ 公私共に多用(その割には実利なし)となり、人間関係にヒビが入りかねないので仕事や家庭でのコミュニケーションを大切にすること。
- ④ 経済面は、投資や大口取引には現状を見極めて、計画的に進めること、予算超過とならぬ様、収支のバランスに注意すること。
- ⑤ 稽古事や趣味を活用して、新知識を求めるのに好機です。老後の為に学ぶ姿勢を大切にし、生涯学習の趣味を求める心掛けを持つこと。
- ⑥ 今年は特に仏壇、仏具、墓地の手入れ、新調には最良年。また仏壇の修理、リサイクルするにも良好な年です。仏事法要、墓参など大切にすること。
- ⑦ 健康面では、心身の疲れや神経の乱れる傾向があり、睡眠と休養を取れるように心掛けること。又、交通事故、転落事故、突発事故等にも注意。

◆ 二黒土星 大正6・昭和元・10・19・28・37・46・55・平成元・10・19・28

- ① 喜びと不安の両面を兼ね備えた年で、運氣も後半より衰運に向かうので舌禍に注意し、慎重かつ迅速に対処すること。
- ② 新規事業や計画の実施は延期し、現状維持に心掛け、堅実経営に専念すること。但し、以前から計画していた場合は年の前半までは実施可能。
- ③ 金運には恵まれるが、出費オーバーの傾向あり、収支のバランスに心掛け、事業面、営業面では緊縮財政で堅実経営に努めること。
- ④ 人間関係も拡大傾向にあり、異性との出会いも多い年。但し、トラブルも発生しやすいので他人まかせにせず、冷静に対処すること。独身者は、結婚の好機、出会いを大切に。
- ⑤ 趣味、稽古事など、自己研鑽に励むこと、学びの姿勢を豊かに。
- ⑥ 新築、増改築、開店、開業、建碑、建墓、移転、旅行等は、8月23日頃までの前半に実施すること。
- ⑦ 健康面では、不摂生から体調を崩しやすく、心身の疲労、暴飲暴食を慎み、健康管理と休養に心掛けること。交通事故、刃物による怪我、災難、女性は異性関係や性犯罪に注意。

◆ 三碧木星 大正5・14・昭和9・18・27・36・45・54・63・平成9・18・27

- ① 良宮(変展宮)に入り、変化変動の生じやすい不安定な年。何事にも惑わされず、現状維持に努め、冷静沈着に対処する心構えが大切。
- ② 先祖供養・年回法要の大切な年(過去帳を調べよ。年忌該当のご先祖様がいないはず、自分自身で盛大に法要を営むこと)。但し、建碑、建墓、仏壇の新調は避けること。
- ③ 事業面や営業面でも、後日トラブルを起こさないように文書、捺印等の確認を怠らないこと。友人・知人といえども金銭の貸借は慎むこと。
- ④ 対人関係では、仲介、仲裁、訴訟、調停沙汰などの一切の揉め事は極力避け、和に心掛けよ。

- ⑤ 家族間、親族縁者間のトラブルが起りやすい傾向あり、互いにコミュニケーションに努めること。異性関係においても、変化変動を生じやすい年です。腐れ縁とならないように要注意。
- ⑥ 健康面では、持病の再発、自律神経疾患、胃腸、関節関係疾患、原因不明の病名と病気に注意。また交通事故、転落事故、火災などによる怪我、打撲傷などにも注意すること(循環系の疾患にも注意)。
- ⑦ 今年の疾病は、先祖(水子も含む)の因縁を受けているので、年中行事の仏事には率先協力し、彼岸・盆・命日・三合詣りなど忘れぬよう、節分には厄除け、除災、身体健全等の祈願及び断ち物をする事。

◆ 四緑木星 大正 4・昭和 8・17・26・35・44・53・62・平成 8・17・26

- ① 前厄に加え、暗剣殺の凶意を受けることを自覚し、諸事慎重かつ敏速に対処すること(先手必勝のチャンスを逃がすな)。焦りや行き過ぎは禁物。後半(8月24日以降)より衰運に向かう。
- ② 『顕現作用』の象意あり、書類や印鑑の取り扱いは慎重に。特に保証事は避けるほうが賢明。約束や契約事などは、後日トラブルを起こさないように正式な書類にしておくことが肝要。
- ③ 『離合集散』の象意あり、親しい人との離別、新しい人との出会い、人事の入れ替わりなどの転勤、退職などの起りやすい傾向の年、特に目的のない退職は、身の破滅を招くことになるので慎重に。
- ④ 火難発生の恐れあり、火の取り扱いに注意すること。電気・ガス等の点検を確実に。旅先では、非常口の確認を忘れずに、また盗難にも要注意。
- ⑤ 事業面や営業面では、表面上好調に見えても内容に乏しく安定性にも欠けるので、無駄な出費を抑え収支のバランスに気を配り堅実経営に努めること。外交面では海外旅行、内外の展示会等で見聞を広げるには好期。吉月、吉日、吉方位を求めて実施すること。
- ⑥ 健康面では、焦りや苛立ちからの精神的動揺、ストレス等が起因となり不眠症やノイローゼなど心因性の病気にかかりやすいので要注意、また交通事故や転落事故にも注意せよ。
- ⑦ 厄除け、願掛けの断ち物、又節分には家内安全、年中安泰、除災得幸などの祈願をするのも開運への一方策です。

◆ 五黄土星 大正 3・12・昭和 7・16・25・34・43・52・61・平成 7・16・25

- ① 運氣最低な『本厄』の年を自覚し、『石橋を叩いて渡る』慎重さが必要です。将来のためのエネルギーの蓄積を心掛けること。外交面より内面の充実に努めること。
- ② 交友関係、遊興関係での浪費傾向あり、収支のバランスに心掛けよ。金銭の貸借や保証事は極力避けること、また孤立に陥りやすい傾向もあるので人との和を心掛け、待つ事の出来る人になれ。
- ③ 異性問題が生じやすく、深刻化する傾向がある。今年に関係をもった異性は、5年間の悪縁となって悩む恐れあり、冷静に理性をもって対処すること。
- ④ 色情の因縁から中絶、流産、死産など、水子の悪い因縁を背負い込む恐れがあるので墓参、水子供養を大切に。
- ⑤ 病難、色難、水難、盗難、交通事故等の突発事故に注意し、精神面の落ち着き、安定を得

るため信仰を持ったり、稽古事に力を入れたり、家庭生活を第一に考え、コミュニケーションに努めること。

- ⑥ 健康面では『病魔潜入』の暗示あり、日頃から健康管理の大切な年。体調も崩れやすく、古病、持病の再発や慢性化に注意すること。長引く恐れあり、早期発見、早期治療が望まれます。
- ⑦ 『本厄』の年につき、厄除けの断ち物をしたり、節分には年中安泰、除災、厄除、身体健康等の祈願を受けるのも開運の道。

◆ 六白金星 大正 2・11・昭和 6・15・24・33・42・51・60・平成 6・15・24

- ① 『後厄』を自覚し、前年の低命運からの脱却を図るため、忍耐力、継続力を持って地道にかつ、慎重に現状維持を基本として、準備計画をすること(後半:8月24日以降は上昇気流)。
- ② 『働く(はたらく)』を『傍(はた)楽(らく)』と考え、奉仕の精神で努力すること。
- ③ 事業面では、目上、先輩、有識者の良きアドバイスを仰ぎ、永年勤続者の表彰等の実施も開運への道。「待つこと」「耐え忍ぶこと」「従うこと」「一步一步地道に努力すること」が未来への可能性となる。発展と信頼の基盤を築くための準備計画の期間の年とせよ。
- ④ 契約事や約束事は、後日トラブルを起こさないように慎重に(保証事、仲介事、捺印等要注意)。
- ⑤ 親族との別れや親戚関係のトラブルが起こりやすい。年回法要、墓参等を大切に。長期疾病は祖先の因縁によるものと心せよ。
- ⑥ 『後厄』の年につき、厄災除けの断ち物や節分の年中安泰祈願、恵方詣り、三合詣り、墓参等をするのも開運への1つの方法です。
- ⑦ 健康面ではあまり良好とはいえない。本命月(10月)の本命の日(8日、17日、26日、11月4日)に健康診断を受け、早期発見、早期治療を心掛けること。

◆ 七赤金星 大正 10・昭和 5・14・23・32・41・50・59・平成 5・14・23

- ① 過去4年間の衰運気を脱し、積極的に行動できる開運の年です。但し舌禍に注意し人とのコミュニケーションを大切に、諸事冷静に対処すること。
- ② 何事においても、即決即行が決め手であるが、準備不足や勇み足及び目先の欲や利潤のみの追求は、墓穴を掘る結果となる。自制心を大切に(「足る」を知る心)。
- ③ 人間関係の拡大に伴い、行き過ぎや短気、舌禍に注意し、周囲との調和と協調を心掛け、甘言に乗らないこと。また収支バランスの崩壊などの危険性もあり。
- ④ 結婚を前提とした異性に巡り合う絶好のチャンスの年、真面目で心の通った交際を心掛けること。
- ⑤ 新規事業などは、以前から準備計画していた事柄なら良好です。但し方位や相生・相剋(共同事業などの場合)を、無視しないこと。
- ⑥ 今年は、火難、雷難の危険年、電気やガス等の点検、管理に心掛けること。また焚火やタバコなどの火の後始末を確実にすること。
- ⑦ 健康面においては、さほど心配ないと思われませんが、暴飲暴食を避け、「新陳代謝」を意味するところから、古病、持病の再発、悪性の腫れ物などに注意すること。早期発見、早期治療が必要。

◆ 八白土星 大正 9・昭和 4・13・22・31・40・49・58・平成 4・13・22

- ① 運氣好調な盛運年。「信用、遠方、交流、調整、整う、喜び」等の象意を持つ福運年。
- ② 信用第一に心掛け、遠方の取引にツキが発揮されます。自信をもって行動せよ。旅行においては、自分が世話役にまわれば信用はつくが実利なし。特に派手さから予算や経費の超過が心配される。
- ③ 営業面での特徴として、長引く傾向あり。『歳破』の影響もあり、的確な情報を元に、即決即行で慎重に対処せよ。利潤追及のみに走り過ぎないように、奉仕の精神を忘れないよう心掛けること。
- ④ 対人運では、世話事や相談事も増える傾向がある。『歳破』の影響もあり、空約束や曖昧な態度は慎み、誠意を尽くし見返りを考えない奉仕の精神こそ大切。
- ⑤ 適齢期の男女にとっては、縁談や結婚の整いやすい年。吉方からの縁を大切に、長引く傾向があるが焦らず慎重に取り組むこと。
- ⑥ 公私共に多用となり、人間関係にヒビが入りかねません。仕事と家庭と朋友との板挟みでバランスを崩さないよう、コミュニケーションを大切にすること。
- ⑦ 健康面では、季節の変わり目や疲労の蓄積、暴飲暴食に注意し、充分休養を取ること。三合詣り、祖先の墓参(ご命日詣り)を心掛け、水子に因縁のある方は、供養を大切に。

◆ 九紫火星 大正 8・昭和 3・12・21・30・39・48・57・平成 3・12・21

- ① 俗に言う『八方塞がり』の年、過去9年間の総決算の年で、反省の年と心得よ。また9年周期で10年先までの人生設計、生活設計を立て直すのに良い年。
- ② 中宮(観心宮)に入り、静観して動かず現状維持に努めよ。運勢上の浮き沈みの変化変動の大きい波乱含みの年で、諸事結論を求められる年になります。心して対処せよ。
- ③ 今年は特に先祖供養の大切な年。他人まかせにせず、自ら先祖供養とお盆及び彼岸等の供養をすること。
- ④ 事業面や営業面では、五黄土星の悪影響を受け、好不調の落差が大きく的確な判断力が必要。また新規の事業や計画の実施は、慎重さが必要。
- ⑤ 健康面は、体調の変化を生じやすい傾向がある。持病、古病の再発、また病気治療中の人は、悪化しやすい傾向があり、過労からの疾病に要注意。また交通事故、突発事故等にも注意。
- ⑦ 『命厄』の年につき、節分には厄除けの断ち物などを行い、自身を歎苦型人間に磨き上げること。

* 「易は 当たるも八卦・当たらぬも八卦」とご承知ください。

参考文献

運研

井上日宏氏

易経講和

公田連太郎氏

干支の活学

安岡正篤氏

マーフィの易占い

ジョセフ・マーフィ氏

陰陽道

永原芳郎氏

日本の自然災害

国会資料編纂会

高島易断

高島吞象氏